

月日は百代の過客にして
行き交ふ年もまた旅人なり
船の上には生涯を浮かべ
馬の口とらして老いをも
迎ふる者は、日々旅にして
旅を栖すみかたす。
古人も多く旅に死せるあり。

松尾芭蕉「おくのほそ道」より

おひから書

